

企業名	取組の概要
<p>エクスポートジャパン株式会社</p>	<p>○ジャパンガイド内コンテンツ、「National Parks」を作成し、国立公園の周知・啓蒙を実施。</p> <p>○ジャパンガイド内コンテンツ、「National Parks」の PV 数、クリック数を期間別、国別に集計、情報提供を実施</p> <p>○国立公園に関する Web アンケート調査を実施</p> <p>National Parks</p>  <p>The first national parks in Japan were established in 1931 to designate and preserve places of scenic natural beauty for people to enjoy. They included the coastal areas around the Setonaikai and the mountainous areas of Kirishima and Unzen Amakusa. Today, there are 33 national parks scattered across the country from the northern tip of Hokkaido to the southernmost islands of Okinawa.</p>
<p>SGホールディングス株式会社</p>	<p>○霧島錦江湾国立公園の最寄り駅である「JR鹿児島中央駅」に手荷物預かり所を開設。観光客の利便性や回遊性の向上のために、手荷物の一時預かりやホテル即日配達などの手ぶら観光サービスを開始。</p>  <p>○当社ホームページ上の「国立公園オフィシャルパートナー」特設サイトにおいて、満喫プロジェクト8公園を紹介し、国立公園の魅力や情報を発信。</p> <p>http://www.sg-hldgs.co.jp/</p> <p>http://www.sg-hldgs.co.jp/park/</p> <p>○佐川急便が東京駅内で訪日外国人観光客や国内の観光客、ビジネス客向けに手荷物預かりや宅配サービスを提供する「TOKYO SERVICE CENTER」を中心に、東京23区内のサービスセンターに国立公園パンフレットを設置。パンフレットを設置することで、利用者へ国立公園の魅力を発信。</p>
<p>小田急電鉄株式会社</p>	<p>○2018年3月に、富士箱根周遊券の案内パンフレットをリニューアルし、国立公園オフィシャルパートナーロゴマークを記載するとともに、富士箱根伊豆国立公園の情報を紹介。小田急旅行センター(新宿・小田原)に配布、案内に活用中。</p>

国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)



一般財団法人休暇村協会

○パートナーシップ締結と立地を生かし、自然に関心が高く、長期滞在の見込める欧米豪市場に対して情報提供を行い販路を拡大。

○国立公園・国定公園の豊かな自然環境を体感していただくため、「流れ星を6,000集める」イベントを企画し、2018年7月7日の七夕までの期間で実施。

○東日本旅客鉄道株式会社様とタイアップして、休暇村専用媒体を作成、首都圏の旅行会社様へ配布実施。ホテル情報だけではなく国立・国定公園の自然を活かした体験型プログラム及び周辺の自然情報を発信。



○各国の観光関連機関への定期訪問及び国内外の商談会等において、国立公園の魅力市場に合った旅行スタイルやモデルコースに落とし込んで提案。

- ・1月下旬 韓国(釜山)にてレンタカーを使った周遊企画商品等を始め、国立・国定公園の自然や体験企画等を旅行会社へ提案
- ・4月中旬 韓国(ソウル)にて国立・国定公園を絡めた教育旅行や趣味の旅関連の企画商品等をPR、オフィシャルパートナーシッププログラムの紹介を実施

国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)

九州旅客鉄道株式会社

○旅のライブ情報誌「Please」の2017年10月号巻頭特集に、阿蘇くじゅう国立公園の一部に指定されている由布岳の記事を掲載。管内の新幹線・特急列車内や駅等で配布したほか、ホームページに掲載。

<http://www.jrkyushu.co.jp/train/please/index.html>

[http://www.jrk-](http://www.jrk-panf.net/tabi/please/201710/html5.html?_ga=2.264794955.597203530.1526861070-535714913.1524362362#page=1)

[panf.net/tabi/please/201710/html5.html?_ga=2.264794955.597203530.1526861070-535714913.1524362362#page=1](http://www.jrk-panf.net/tabi/please/201710/html5.html?_ga=2.264794955.597203530.1526861070-535714913.1524362362#page=1)



KNT-CT ホールディングス株式会社

○外国人向けに全国の国立公園を訪問する旅行商品を企画し、YOKOSO JAPAN WEB サイトにて英語、中国語(簡体・繁体)、タイ語にてPR 及び販売を実施。



<http://japantraveleronline.com/>

○女性をターゲットにした「初めての山ガール」の取組を通して、国立公園の楽しみ方の紹介や気軽に参加できる旅行商品を企画・販売した。



<https://www.club-t.com/special/theme/yama-girl/>

株式会社 JTB

○JTB 旅カードゴールド会員誌「Travel & Life」、及び Web マガジンで国立公園満喫プロジェクトの紹介、阿寒摩周及び日光国立公園の特集記事を掲載

国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)

○エース JTB「雲仙仁田峠プレミアムナイト」に代表される国立公園における
着地型旅行商品の開発・流通の促進



○国立公園の保全と理解の啓蒙に向けた清掃活動、環境学習の実施
(JTB 地球いきいきプロジェクト)

- ・平成 29 年 9 月 9 日 北海道釧路市阿寒湖畔
「アイヌ文化から自然との関わり方を学ぶ 阿寒湖畔清掃活動」
- ・平成 30 年 3 月 11 日 日光国立公園
「感じて学ぼう！日光国立公園 奥日光のいきものつながり」



○阿寒アドベンチャーリズム株式会社連携により、国立公園内の夜の森を舞台にした体験型デジタルアートのコンテンツ開発や、阿寒の豊富な観光資源(自然、アクティビティ、アイヌ文化等)を活用したアドベンチャーリズム事業を推進

四国旅客鉄道株式会社

○訪日外国人向け割引きっぷ「ALL SHIKOKU Rail Pass」のパンフレット内の地図に、瀬戸内海国立公園・足摺宇和海国立公園の区域を表示。

首都高速道路株式会社

○2017 年 12 月、ドライブ情報誌『首都高じゃらん』にて、羽田空港アクセスキャンペーンを実施。キャンペーンの中で、震災から復興途中の熊本を特集。羽田空港まで首都高を利用しての空の旅を提案。目的地の熊本では、地元の名産品や観光スポットを紹介するとともに、熊本県と連携し、阿蘇くじゅう国立公園やその周辺の観光エリアの魅力などの情報を発信。

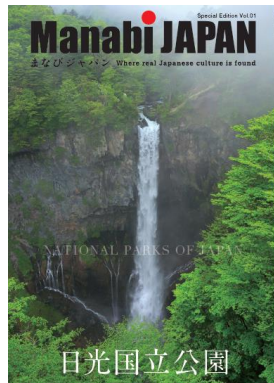
国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)



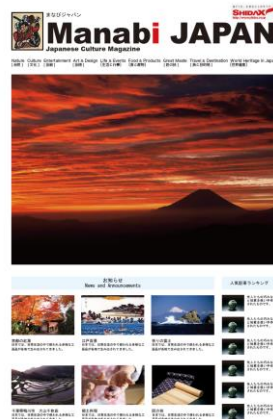
シダックス株式会社

○「Manabi Japan」というオウンド・メディアを作成
 ・日本文化のキュレーション・サイト。日本語・英語版を作成。
 WEBサイトも運営中。「国立公園特集」ページを掲載中。
 ・さらに、国立公園特集ページの内容を中心にフリーペーパー(20P.1万部)を制作。本誌は2018年3月に1万部発行。7月は伊勢志摩国立公園を特集予定。

① フリーペーパー表紙



② WEBサイト





国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)

<p>全日本空輸株式会社</p>	<p>○国立公園紹介ページの公開 ANA ホームページ「Japan Travel Planner」において、国立公園を特集として紹介。 (訪日外国人向け情報サイト) https://www.ana.co.jp/ja/us/japan-travel-planner/</p>  <p>○英語版機内誌「WINGSPAN」内に国立公園の記事掲載 ・2017年9月 日光 ・2017年12月 十和田八幡平 ・2018年3月 阿寒湖 今後の掲載予定(掲載内容に関しては変更の可能性あり) ・2018年7月 阿蘇くじゅう ・2018年9月 大山隠岐</p>
<p>中部国際空港株式会社</p>	<p>○旅客ターミナルビル4階イベントプラザの大画面媒体「SORA ビジョン」にて、国立公園の3分PR動画を放映。</p> 
<p>東海旅客鉄道株式会社</p>	<p>○JR 東海グループの旅行業部門、ジェイアール東海ツアーズにおいて制作している伊勢志摩向け平成 30 年度上期旅行商品パンフレット「ぶらっと伊勢志摩南紀」に国立公園オフィシャルパートナーロゴマークを記載。数万部発行、ツアーズ店頭等に配架(WEB 上に電子パンフレットもあり)。 ○インバウンド旅行者向け周遊きっぷ「ツーリストパス」の商品チラシ、アルペン・高山・松本エリア周遊きっぷ版商品チラシに国立公園オフィシャルパートナーロゴマークを記載。海外の商談会や旅行博や店舗で配布予定。 ○インバウンド旅行者向け周遊きっぷ「ツーリストパス」の WEB サイト インバウンド旅行者向け周遊きっぷ「ツーリストパス」の WEB サイト (http://touristpass.jp/en/alpine/sightseeing/)に国立公園オフィシャルパートナ</p>



国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)

一ロゴマークを記載。



東京国際空港ターミナル株式会社

○TIATウェブサイトにおいて、国立公園を紹介するようバナー掲載。



東武トップツアーズ株式会社

○国立公園を擁する地域の旅行パンフレットにオフィシャルパートナーのロゴマークを掲示し、パートナー企業であることを広くPR。

国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)



○11月に日光国立公園の紹介案内を作成し、海外メディア向けにリリース。

中日本高速道路株式会社

○サービスエリアガイド 2018年4月版にて国立公園の写真とロゴを掲載

- ・東名・新東名: 富士箱根伊豆国立公園
- ・名神・北陸道: 伊勢志摩国立公園
- ・中央道・長野道: 秩父多摩甲斐国立公園

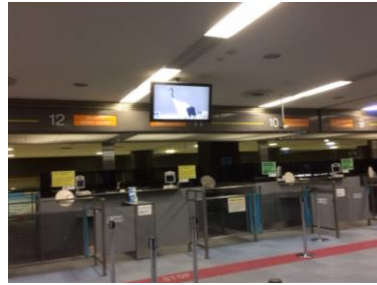




国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)

成田国際空港株式会社

- 入国審査ゲートのモニターにおいて、国立公園の PR 映像を放映
- 2018年3月より第1ターミナルビル内ツーリストインフォメーションセンターにおいて、国立公園のPR映像を放映開始
- 2018年4月にオープンした観光情報サイト「TOKYO-NARITA JAPAN EXPLORER」内に国立公園サイトバナーを掲載



日本航空株式会社

- 機内誌「SKYWARD」(国際線版、国内線版)において、国立公園の魅力を紹介する記事を連載中。



株式会社日本旅行

- 「次の世代に残したい日本の観光資源を深く知って守る旅」をコンセプトに「知るたびニッポン」シリーズを設定。
- 国立公園をテーマとした専用商品を開発。17年11月～18年3月は阿寒摩周国立公園、伊勢志摩国立公園、奄美群島国立公園の専用旅行商品を展開



- 「知るたびニッポン」世界自然遺産候補地 奄美群島国立公園
18年6月～9月で専用商品を展開

国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)

	<p>○ウェブサイトにおいて、国立公園紹介用専用ページ「日本の国立公園へ行こう」を作成・掲載。</p> 
<p>西日本高速道路株式会社</p>	<p>○高速道路周遊パス利用促進テレビCMにおいて、国立公園をPRするとともに、国立公園のシーンではロゴマークを使用。</p> <p>➢中国編／加賀の潜戸(大山隠岐国立公園)</p> <p>「ぶらり中国ドライブパス 2018」 2018年5月から1か月間</p>  <p>➢関西編／今子浦(山陰海岸国立公園)</p> <p>「京都・若狭路・びわ湖ぐるっとドライブパス 2017」 2017年10月から1か月間</p> <p>○自治体が選んだ観光地や高速道路のSAに設置したカードを集めて、抽選で地域の名産品が当たる「お国じまんカードラリー」のパンフレット内の地図(関西・中国・四国・九州地区)に、各国立公園の紹介を行い、国立公園区域を図示。</p>



国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)

阪神高速道路株式会社

○沿線情報誌『どらいぶらり vol.16』12月発行の特集において、瀬戸内海国立公園である六甲山周辺の観光スポットを紹介。パーキングエリアや道の駅で配布のほか、ホームページにも掲載。また、『どらいぶらり vol.18』7月発行の特集において、瀬戸内海国立公園である沼島(ぬしま)を紹介予定。

○阪神高速管内のパーキングエリアにて国立公園のPR映像を放映。



東日本高速道路株式会社

○フリーペーパー『Highway Walker』において、日光国立公園の特集記事を掲載、当社事業エリアのサービスエリアに配布。

○北海道の高速道路を安全に、楽しく、快適にご利用いただける情報等を紹介したドライブマップを作成し、阿寒摩周国立公園の特集記事を掲載。



○サービスエリアで開催した地域連携観光イベントにおいて、環境省の職員等も参加し、国立公園のPR・クラブ体験・動物の毛皮展示等を実施

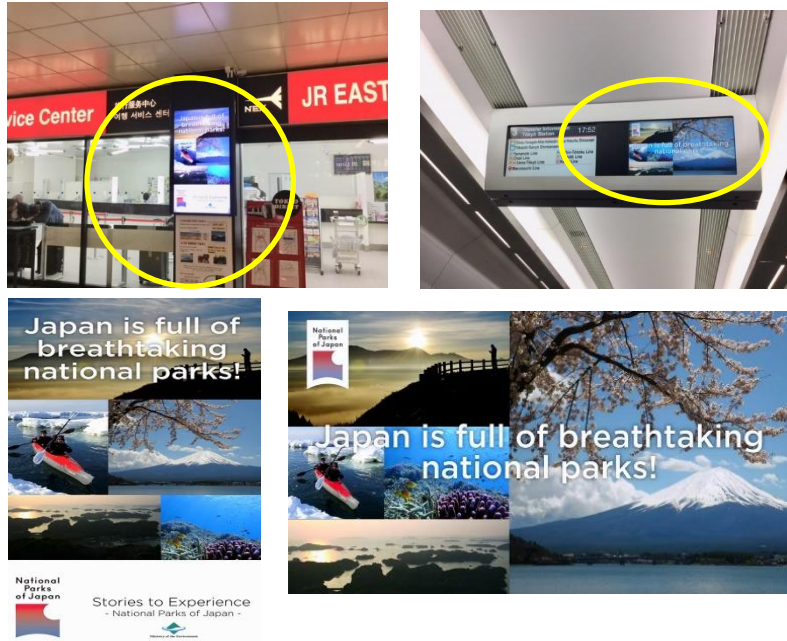




国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)

東日本旅客鉄道株式会社

○列車内デジタルサイネージ「トレインチャンネル」ならびに、JR 東日本訪日旅行センター内設置のデジタルサイネージにて、環境省のPR活動「国立公園満喫プロジェクト」の動画配信を実施。(2018年3月～6月)



○『大人の休日倶楽部』会員誌にて、冬の十和田八幡平国立公園の特集記事を掲載。(2017年11月号)





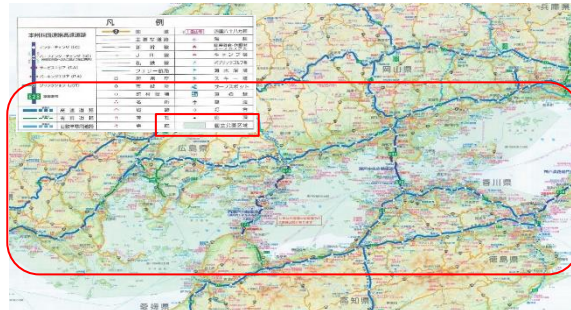
国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)

本州四国連絡高速道路株式会社

○せとうちコミュニケーションマガジン『瀬戸マーレ』などで瀬戸内のみどころを紹介。
2018年3月より、瀬戸内海国立公園紹介コーナーを開始。



○『本州四国連絡高速道路SAPAご案内』(2018年4月発行)の地図に国立公園区域を表示。



○雑誌等の広告に国立公園オフィシャルパートナーのロゴを掲載
・『冬びあ』(2017年11月)、『ドライブびあ』(2018年3月)
・『まっぷるドライブ関西ベスト』(2018年2月)、『まっぷる広島』(2018年3月)、東京メトロ『メロガイド』(2017年12月～2018年1月)

株式会社ヤママップ

○11月に国立公園フォトコンテストの結果を発表。入選作品は、WebのほかSONYストアで展示。

○12月Youtubeで公開している山番組「山旅日記」において、雲仙天草国立公園内の「雲仙・普賢岳」を紹介。



○5月にYAMAP内で乗鞍岳、飛騨高山の周遊モデルコースの紹介と専用地図の配信。

○5月に富士箱根伊豆国立公園に含まれる金時山で300~400人を集めるイベント

トを開催。



○ウェブマガジンにおいて、上高地、南アルプスなどの記事を随時配信。

山と溪谷社

○弊社刊行の出版物で国立公園を特集、記事、付録などで紹介。

a) 月刊『山と溪谷』

2016年7月号「国立公園の今」

2017年5月号「もう一度知る、上高地」

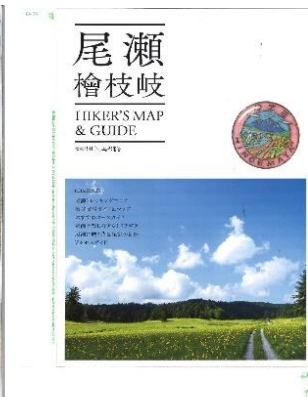
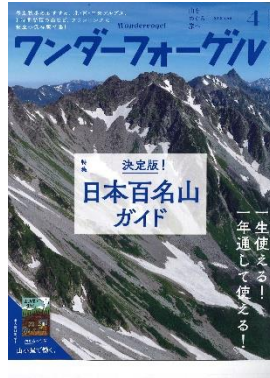
2017年6月号 付録「尾瀬・檜枝岐ハイカーズマップ」

2017年8月号 付録「3000m峰全収録 中部山岳全域マップ」

b) 『ワンダーフォーゲル』誌

2017年6月号付録『行こ！尾瀬』

2017年8月号 特集「テントで歩こう！日本アルプス」





国立公園オフィシャルパートナーの取組例 (2017年10月～2018年5月時点)

ここに掲載している企業・取組のほか、オフィシャルパートナーの各社では、ホームページやパンフレット等における国立公園オフィシャルパートナーのロゴ表示や、環境省国立公園ホームページとのリンク、SNSの連携による情報発信等を実施しています。

環境省においても、各社のオフィシャルパートナーシッププログラムの取り組みについて、国立公園公式 SNS による情報提供等を行っています。